

渡邊默禪君著 川上恒茂君畫

女子獅子

全三冊 實價各一冊 郵送料各一冊 金六錢

著者默禪子自白ふ、予、從來事實譚なるものに筆を着けしこと數十回に達したるも、未だかゝる大規模の大事業に手を染めたることあるす……實に然り……遂に文久年間、其端緒を發きて明治三十七年に其の尾を曳き、前後四十有餘年の永きに跨れる、天下稀有の一女傑が傳記にして、關係の局面甚だ闊く、變幻怪奇の波瀾縱橫錯出、幾んど應接に暇なからんす、乞ふ愛讀をたまへ

巖谷小波君序 山岸荷葉君著 楠木清方君畫

五人娘

全一冊 美術木版畫挿入 實價金四拾五錢 郵送料金六錢

山岸荷葉君の文は、既に世に定まれる評あり、本書は、子が獨得の麗筆を揮つて、可憐愛すべき五人娘の運命を叙せるもの、加ふるに楠木清方子が丹精を凝せる、木版極彩色數十度摺の美人畫を以てす、真にこれ、文麗裝美無比の好讀物

十二

渡邊默禪氏著 長谷川小信氏畫

怪の怪

全二冊 表紙口繪 極彩色美木 實價各一冊 金四拾五錢 郵送料各一冊 金六錢

これは文名東部に鳴る渡邊默禪氏が、天馬奔空の快筆を揮つて、黒石子爵家大波瀾の真相を描寫した、奇々怪々の怪小説であるから、是非一冊は購て見玉へさ、監文館の主人が御勸告をする……

半井桃水君著 高橋舟齋君畫

贗造紙幣

全一冊 實價金四拾五錢 郵送料金六錢

水や天、天や水なる太平洋の中央に於て、漁夫が偶然に得し一箇の密閉せる小瓶子の中より、一世を欺罔せる大奸賊の罪惡は、意外にも世間に暴露するに至れり、事ごと注意深く巧妙に行はれたる犯罪の真相は、一朝一夕にして探り知る能はず、流石に老練なる探偵博士をして、如何に慘憺たる苦心をせしむるか、これ一篇の讀みどころである乞ふ愛讀を賜へい

江見水蔭君作 八幡白帆君畫

大正五人女

全五冊

木版手摺 極彩色美人 挿畫附

定價各一冊五十錢宛 送料各一冊六錢宛

全五冊一時に御注文の方に限り送料共に特價金貳圓(但し内地限り)

本篇は約九ヶ月の長期に亘り、東都中央新聞に掲載せられて空前の好評を博し、中外數十萬の讀者をして心醉歡喜しめたる一大活劇小説にして實に過去に於ける數多き水蔭先生の作物中にも拔群傑出せる最長の雄篇である。

編中に活現する女の種類には、女優あり、藝妓あり、猛獸使ひの女あり、富豪の奥様あり、墮落女學生あり、賢夫人あり、薄馬鹿女中あり、淫婦、毒婦、菩薩、夜叉、個々入り亂れて興味深き大活動をなし舞臺の變化幻奇妙怪を極めた、近來稀に見るの面白き小説である。

渡邊默禪君作

口繪者 歌川國松君 谷洗馬君 鈴木錦泉君

川上恒茂君 長谷川小信君

艷麗極彩色 口繪挿入美本

十四

日本新聞

千里眼

全三冊二付

實價一圓四十錢

(送料共にて)

掲載小説

横山花子

全二冊二付

實價金一圓

(送料共にて)

本書は日本新聞に連載して大好評を博したる事實小説にして、今を去る二十餘年以前江州に現はれたる、横山花子と云へる可憐の美人が、神通自在の術を弄して魔法使ひとして驚嘆されたる幻怪奇譚の事實を寫したるものなれども、其裏面には悲慘骨を剝り肉を刻むの消息がある。彼女の父は東京府の參事片桐義郷、母は柳橋で嬌名を唄はれし梅吉、しかも薄命可憐なる花子は、僅に三歳、父母に生別してより以來、流離飄零具に辛酸を嘗め、遂に或る動機の捉ふる所となりて天下の珍たる其身を捧げて蒼波渺茫たる琵琶湖上に奔り去る、其生涯二十餘年の徑路を寫す間に、靈と肉との戦ひ、個人と社會の葛藤の如何に險峻烈なるかを説きたる、默禪先生最も得意會心の作にして、其筆力は艶麗にして繪を見るが如く精巧に、其内容の千波萬波寄せ來つて波瀾重疊の妙を極む、乞ふ一讀して其言の廻らざるを知られよ。

島川七石君作 山本英春君畫

戀のしがらみ 全三冊

木版手摺極彩 美人挿畫附 定價各一冊五十錢宛 送料各一冊六錢

蘭子と信吉 全三冊

全六冊一時に御注文の方に限り送料共に 特價 貳圓五拾錢 (但し内地限り)

本書は、著者が一代の心血を傾注して創作せられし一大雄篇にして、其内容たるや、主人公は健實なる志想を抱いて帝都に苦學する一青年を以てし、此快男子に配するに、可憐なる麗人、失戀の令嬢、奸誘憎むべき賣國奴、刺客、女優、老政治家、歌妓、亡命の志士、不良青年、變裝刑事、其他社會に在らゆる階級の人物をば、舞臺の變化と共に活躍せしめて、以て讀者を起伏重疊たる情海の波瀾の中に捲き込まんとする、眞に近來稀に見る良家庭小説にして、又絶好の立志的戀愛悲劇小説である、乞ふ愛讀を賜はらん事を。

十五

新田 静 濤 君 作
谷 洗 馬 君 畫

立志 富の力

各册共木版
極彩色口繪挿入
全三册
實價各一册四十五錢宛
送料三册二付八錢

猛虎と見ても石に箭の穿ちし故事もある、精神一到何事をか爲し得ざらめやと、一朝、富の力の壓迫の大なるに感奮して、猛然志を立て、故郷の地を去り、帝都に出でたる水呑百姓の子は、僅々十年の短日月の間に、能く百萬圓の大富豪と成り得た、彼は如何なる手段方法にて此富を得たか、如何に奮闘努力して此富を得たか、彼をしてかく發奮せしめたる動機は何、其處に讀者を感動せしむべき血と涙との物語があるのだ。

島 川 七 石 君 作
八 幡 白 帆 君 畫

悲哀 罪

全二册
美術木版口繪挿入
各一册實價五拾錢宛
送料二册二付金八錢

奇怪なる犯罪事件である。帝都劇壇の花とた、へられし、佳麗妙齡なる一女優の手によつて世にも恐るべき殺人の大罪が犯されんとした、其裏面には、必ず何か陰れたる大なる秘密が無ければならぬ。そも犯罪の動機は何、戀か、嫉妬か、否、戀にあらず、嫉妬にもあらず、其處に同情の涙を濺かしむる悲痛凄惨なる、且美しき物語があるのだ。

江見水蔭君作
八幡白帆君畫

中央新聞
掲載小説
三怪人

各册共木版
極彩色密書挿入
全四册各一册
實價金四十五錢宛
送料四册二付八錢
但シ内地限り

怪賊の一團あり、其行動の幻奇妙怪なる、實に神沒鬼出にして、暮顯朝晦捕捉するに難く、而其犯行の陰險兇猛なる、空前未聞の深刻悪辣を極め、近時有名なりしデゴマ、ボンノ一の徒輩をしても、遠く三舎を避けしむる程である、彼等を獲んが爲に我探偵界の巨人は、如何に戦慄すべき惡争苦闘を経たか、其處に讀者の心血を衝動すべき、骨を剝り肉を刻む的の痛快壯烈なる消息がある、此怪奇絶妙の事實を寫すに、老巧練熟せる水蔭先生の靈筆をもつてす、洵に稀に見る近來の活小説であると隆文館の主人が敢てお奨めをする。

大阪新報記者

行友李風君作
山本英春君畫

龜甲組

(木版極彩色頗美本)
全三册
實價各一册金五十錢
送料一册二付六錢
三册二付八錢

本書は大阪新報紙上に連載して大好評を博せし事實小説であつて、事は明治貳拾壹年に起り、當時、京都、三重、滋賀、奈良の一府三縣の警察界を騒がせし陰慘凄愴なる一大虐殺事件である、編中に動活する人物には、剛俠不敵の壯士あり、出沒不思議の怪賊あり、泣血苦節の美人あり、薄命可憐の處女あり、個々入り亂れて各有趣味の大活動をなし、一讀骨動き肉を躍らしむべき、血も涙もある生きた面白い小説である。

大阪毎日新聞 記者 橋詰善郷君序

實業力行會著

(四六版二百六十四頁)

無資本最新實業成功法

實價一冊 四十錢
送料一冊 六錢

附錄 「商工職業便覽」及「資金收益對比」

金儲けの一番近道

僅少の資金、それをば巧妙にソツの無いやうに活用して、最も早く、最も大なる實益を收めやうと思はれる人士は、速に、本書に就いて研究せられるが好い、本書は、能く何人に於ても實行を期し得らる、有利的確なる幾多實業の種類と、堅實にして活教訓的なる幾多の實例を列挙して、以て無經驗者に、實業成功の最捷徑を指示して、致富の手段と其要訣を説く事、頗る懇切に、且つ極めて詳密であるから、其志ある人士に取つては、真に無類の好参考書である、

諸戸清六氏題字
實業力行會著

四六版紙數三百二十餘頁

無資奮闘 成功家實歴

實價一冊四十錢
送料一冊六錢

附錄 現時日本に於ける百萬圓以上資産家一覽

本書は最新實業家立志編なり

確に金に持なる方活問

僅々數十年の間に、蓄積し得たる財産幾千萬と噂されて居る、安田、澁澤、古河等の諸金傑でも、決して金の生る樹を持つて生れたのでも無ければ、戎大黒天の申し子といふ譯でもない、澁澤氏は元藍玉の小商人で、古河翁は豆腐屋の小作、安田氏の如きは玩具商の素丁稚から成り上つたのである、然らば彼等成功者は、如何なる手段方法にて、能く今日の富を獲得したか、ツマリ、異常の努力と最善を盡した奮闘の結果に他ならぬのである、が諸氏が今日の大を成し得るまでには、無論、逆境に苦む事もあつた、難關に艱む事もあつた、其波瀾曲折多き半世の實歴こそ、實に、血と涙に満ちた、興味深き活きたる小説であつて、其處に後進の業に學ぶべき幾多の價値ある活教訓が含まれて居る、本書に輯むる所は、最新實業成功家四拾餘名の立志實歴談なれば、無資空拳、大に活動を試みんと志さる、の人士に取つては、真に無上の良師友である。

旭堂南陵講演 歌川國松畫
宮原流水速記

◎浪花青地作右衛門

全三冊既刊

◎後の上總六郎

各一冊實價三十錢
送料一冊に付六錢

◎最後大力牛之助

以上三冊迄八錢

本篇の主人公青地作右衛門は、雷名天下に鳴りし無双の劍客、荒木又右衛門の最高弟にして、多年練磨工夫の結果、枯華微笑の妙境に到達し、可悟不可言の奥義を會得せし一代獨歩の大劍士である。副主人公たる上總六郎、大力牛之助の二名は青地門下の龍虎双壁にして共に一流の師範たるべきの勇士。此三勇士一生涯には千化萬變の起伏波瀾を生じ、神飛び肉動く勇壯事もあれば、魂消え涙墮つ悲惨事もある、演者は御馴染の旭堂南陵子にして挿畫は歌川國松畫伯が、優麗鮮麗の彩筆になれる木版數十度摺の美人畫を以てす、實にこれ、華も實もある近來の好讀物であると隆文館の主人が御請合申す。

渡邊默禪氏著 長谷川小信氏畫

事實小説 怪の怪

全二冊

表紙口繪共極彩色美本
實價各一冊四拾五錢
郵稅各一冊六錢

これは默禪子が方寸より描き出した。虛構架空の小説にはあらず。由緒正しき東北の名家として其名を知られし黒石子館「憚つて假名を用ゆ」家に於ける。家庭大混濁の真相を描寫した。奇々怪々なる事實譚であつて。篇中に活動する人物には。表に忠義の假面を被り。そして腹中には恐るべきの大野心を包んで。御家を横領せんとする野心家も在れば。マンマと若殿を掌中に丸めこんで。スンデニ大仕事を爲すげんとした。外見は佛菩薩のやうに優く。而その實は夜叉鬼神よりも辣腕物凄い怪美人も居る。車夫に連れ出される可憐の嬢様もあれば。好いた藝妓と手に手を執つて。落人と洒落玉ふ貴公子もあらうといふ。至極面白い怪小説でございますから是非一度は讀んで下さい。隆文館の主人がお願がいたします。

江見水蔭君作 八幡白帆君畫

探偵の娘

全二冊

木版彩色挿入美本
定價各壹冊 四十五錢宛
送料 一冊二付六錢
二冊二付八錢

米國より新歸朝の飛行家と化て、甘々と華族の令嬢を弄ばんとする大悪黨あり、外面は如菩薩にして内心は如夜叉なる泥蟹龍子といふ大毒婦あり、猾智の天才眞に驚嘆すべき蛛の子仙太なる悪少年あり、動物の生血を搾り取て戦慄すべき或る秘密の發明に苦心しつゝある怪奇不思議の老異人あり多數の部下を有して兇猛比すべき無く、其名も恐ろしき黒蛇伴作といふ、土屋に潜める盲目の怪賊あり、著者が獨特なる神奇幽怪の筆は、かゝる人物を隨所に躍動せしめて、以て讀者をして、變幻恍惚の境に遊ばしめん、乞ふ一讀せられよ。

二十四

匿名子君作 歌川珧舟君畫

可憐の棄兒

全三冊
木版彩色挿入美本
實價各一冊四十五錢宛
送料三冊二付八錢

あ、薄命なる可憐の兒よ、彼は如何にして冷酷無情なる生の母に棄てられ、又如何にして慈愛温き血肉の父と別離の憂き悲みを見たか、親は無くとも子は育つとはいへど、父母に離れて只一人、影も淋き孤兒の行末が、如何に凄慘にして且つ悲哀なるかを見られよ。

橋本埋木庵君作 歌川珧舟君畫

悲劇小説 片破れ月

木版彩色密挿入
定價五十錢
送料六錢

これは東京柳橋で、俠藝妓と云はれた丁字屋の『小いね』に關係した、悲劇的なる事實小説で一冊で讀切の物でございます、他店にも類似の題の物がありませんから、御購求の節には、大阪樋口隆文館發行の物と御指定を願ひます。

277
450

終

